

毎年7月1日は 南幌町治水感謝の日です

南幌町では、夕張川の治水工事で犠牲になった方々の供養と治水工事の成功に感謝するため、毎年7月1日を南幌町治水感謝の日としています。

開拓当時の南幌町は、石狩川、千歳川、夕張川の各河川に囲まれた袋地の状態で、いったん大雨が降ると常に夕張川が氾濫し住民に悲惨な災害をもたらしました。

そんな南幌町を水害から守るため、明治43年から27年間の長きにわたり、その半生を夕張川治水事業に尽くされたのが、南幌町更生の恩人、保原元二氏です。

治水事業の内容は、長沼町との境界を流れる曲りくねった夕張川を千歳川から絶縁して直接石狩川へつなぐための放水路を掘るといふ、当時では画期的な大事業でした。治水工事の成否は、南幌町の歴史を大きく左右する決め手となり、今では夕張川の両岸に、ゴルフ場や運動施設など夕張川リバーサイド公園として町内外から多くの人々が憩いの場として利用しています。

三重緑地公園内には、移転された保原氏の胸像並びに彰徳碑、治水感謝の碑を建立し、南幌町の発展を共に見守っていただいています。現在7月1日には、治水感謝式として三重緑地公園内にある治水感謝の碑の前で執り行われています。

ここに、先人たちが幾度の苦難を乗り越えて夕張川治水工事完成までの記憶をたどり、いつまでもこの功績を後世に語り継いでいきます。



節電のお願い



北海道電力によると、この夏は、さまざまな電力需給対策に最大限取り組むことにより、電力を安定供給するうえで最低限必要な供給予備力は確保できる見通しとしています。

しかし、需給の見通しには、各家庭や企業における節電を織り込んで算定されているため、皆さんには引き続き無理のない範囲で節電にご協力ください。

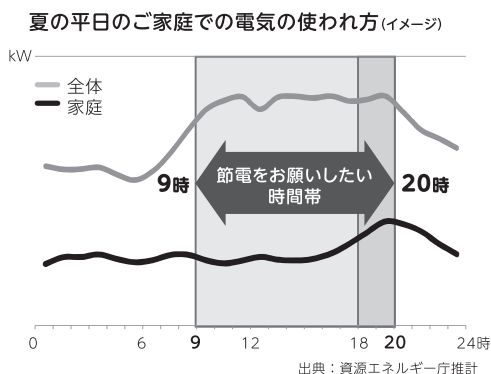
節電をお願いしたい期間・時間帯

☀ 7月1日(水)～9月30日(水)

※お盆(8月13日及び14日)を除く

☀ 平日9時～20時

特にご家庭では、電気の使用が増える夕方以降(18時～20時)の時間帯のご協力をお願いします。



節電をお願いしたい電気製品

ご家庭において夏の20時頃、在宅世帯では平均で約700Wの電力を消費しており、照明、冷蔵庫、テレビで約7割を占めています。外出中の場合でも、冷蔵庫、温水洗浄便座、待機電力などにより、平均で約200Wの電力を消費しています。

電気製品について節電にご協力をお願いします。

夏のご家庭での消費電力
(20時、在宅世帯)

